ワイヤレスステレオヘッドセット ATH-BT09

取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

⚠警告

- **病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない**
  電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- **本製品を航空機内で使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **本製品を自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがありましたら、(ACアダプター使用の際はすぐにコンセントから抜き) お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。**
  交通事故の原因となります。
- **周囲の音が聞こえないと危険な場所 (踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など) では使用しないでください。**
- **本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながらご使用ください。**
- **イヤピースは幼児の手の届かない場所に保管してください。**

⚠注意

- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。
- 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
- ヘッドホンを耳から外したときは、必ずイヤピースが本体に付いているかご確認ください。
  イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- 本製品は電波法に準拠して製造した日本国内専用モデルです。海外の法律には準拠しておりません。
  海外で使用すると各国の法律により処罰されることがありますので、海外では使用しないでください。

リチウムポリマー電池(内蔵)について

⚠危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
  ・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
  ・万一なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**
  発熱、破損、発火の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  ■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
  ■炎天下の車内
  ■ストーブなどの熱源の近く
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱、破裂、発火の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブルおよび指定のUSB対応ACアダプター(別売)以外は使用しない**
  故障や火災の原因になります。

⚠注意

- **機器を使用したあとは必ずスイッチを切る**
  液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

■ 本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い

Li-ion

内蔵充電池はリサイクルできます。
本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。
なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。
○送り先
〒915-0003 福井県越前市戸谷町87-1
株式会社テクニカフクイ　サービス課　宛
TEL : 0778-25-6736

■ 内蔵充電池の交換のしかた

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電池の寿命が考えられます。
内蔵充電池の交換は、お客様ご自身で行なわず、当社サービスセンターへご相談ください。

○サービスセンター ☏ 0120−887−416
(携帯電話・PHSなどのご利用は　03−6746−0212)

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品を使用時に万一メモリーなどが消失しても、当社では一切の責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。
  これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでヘッドホンの故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
  また水がかからないようにしてください。
- 本製品を長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。
- コードを本製品に巻き付けないでください。断線の原因になります。

使用上の注意(つづき)

- クリップ、ボタンなどに必要以上の力を加えないでください。破損の原因になります。
- ヘッドホンを耳から外す際は、ヘッドホンを手で持って外してください。コードを持って外すと断線の原因になります。
- 無音状態や再生中の曲間などに、「サー」というノイズが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth 機器について

本製品は2.4GHz帯の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用する他の機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、およびアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで当社相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置 (例えばパーテーションの設置など) についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

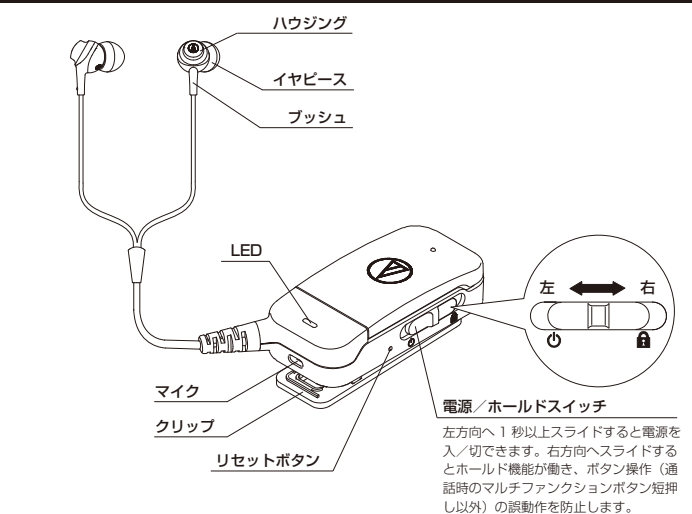
- 本製品は、電波法に基づく小電力データー通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。
  無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
  - 分解や改造を行なう。
  - 本製品に貼付の技術基準適合証明ラベル(マークを含むラベル) をはがす。
- 本製品の表示について
  2.4FH1　この無線機は2.4GHz帯を使用し、変調方式としてFH−SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以内です。
- 使用可能範囲
  本製品は相手側 *Bluetooth* 機器から約10mの範囲でご使用いただけますが、本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
- ほかの機器との影響
  Bluetooth 製品、無線LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- *Bluetooth* 通信時に情報の漏洩が発生しても、当社では一切の責任を負いません。

Bluetooth 対応バージョンとプロファイル

本製品は下記の *Bluetooth* バージョンとプロファイルに対応しています。

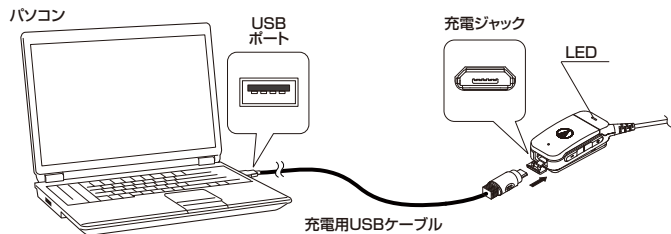
■ 通信方式 : *Bluetooth* 標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
■ 対応 *Bluetooth* プロファイル :

- A2DP Ver.1.2(Advanced Audio Distribution Profile) : ステレオ音質のオーディオデータを送受信するためのプロファイル。
- AVRCP Ver.1.3(Audio/Video Remote Control Profile) : 再生、停止、スキップ、音量調整などAV機器を操作するためのプロファイル。
- HSP Ver.1.1(Headset Profile) : 通話/携帯電話の発着信をするためのプロファイル。
- HFP Ver.1.5(Hands-Free Profile) : ハンズフリーで通話/携帯電話の発着信をするためのプロファイル。

各部の名称

充電のしかた

本製品はリチウムポリマー充電池を内蔵しています。
ご使用になる場合は、必ず本製品を充電してください。
※充電中は *Bluetooth* の接続が切れますので、本製品を使用することはできません。
※USB対応ACアダプター(別売)でも充電することができます。詳しくは13ページをご参照ください。

1. 本製品のキャップを外し、充電ジャックに付属の充電用USBケーブルを接続します。
2. 充電用USBケーブルをパソコンのUSBポートに正しく接続します。
3. 充電が開始されると本製品のLEDが2回青色に点滅した後、赤色が点灯します。
充電開始から約3時間※ でLEDが消灯し充電完了となります。
※ 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了になります。

接続図

電池残量が少なくなった場合
「ピピ.ピピ」とビープ音が3回鳴り、0.5秒間隔でLEDが赤色に点滅します。
本製品の電池が完全になくなると「ピーポー」と終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
LEDの点滅がはじまったら、上記の方法で充電してください。

使用可能時間

連続通信　　：最大約7時間(音楽再生時間を含む)
連続待ち受け：最大約200時間
※使用条件により異なります。

充電時間

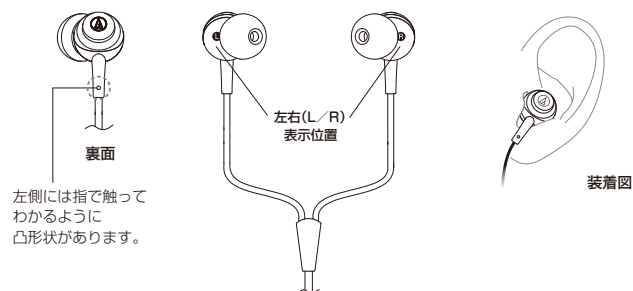
約3時間
※使用条件により異なります。

充電のしかた(つづき)

- 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくてもLEDが消灯したり、LEDが赤色の点滅をしたりします。
  - ・動作保証温度範囲(5℃~40℃)から外れる場合
  - ・充電式電池に問題がある場合

  この場合、リセットボタン(→12ページ)を押してからもう一度上記の温度範囲で充電を行なってください。
  それでもLEDが赤色の点滅をしたり、充電されない場合は、当社のサービスセンターまでご相談ください。
- 初めて充電を行なったとき、または長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、通常通り充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げのお店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 本製品とパソコンを接続中に、パソコンが省電力モードになると正しく充電できません。
  接続を行なう前にパソコンの設定を確認してください。パソコンが省電力モードになるとLEDが消灯し、電源が切れます。
  この場合は、充電をやり直してください。
- 接続の際は付属の充電用USBケーブルのみを使用し、直接接続してください。USBハブ、USB延長ケーブルは使用しないでください。充電用USBケーブルはUSBポートの奥までプラグを持ってしっかり差し込んでください。

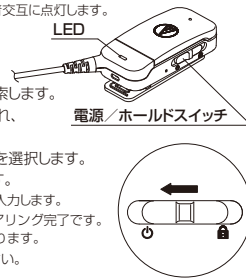
装着のしかた

本製品の " L(左)" の表示側を左耳に、" R(右)" の表示側を右耳に装着し、イヤピースを調整します。

ペアリングを行なう

接続する機器をあらかじめ登録しておく手順です。
***Bluetooth* 機器では、接続する機器を最初にペアリングしておく必要があります。**
※接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

1. 相手側 *Bluetooth* 機器が、本製品の1m以内にあることを確認してください。
2. 本製品の電源が切れている状態で電源/ホールドスイッチを左へ3秒以上スライドさせてペアリングモードにします。
※LEDの点灯パターンは約1秒後に青、青、赤と点滅し、3秒後以降は赤青交互に点灯します。
3. ヘッドホンから「ピーポポ」とビープ音が鳴り、LEDが赤青交互に点灯したら電源/ホールドスイッチを離してください。
※ペアリングには時間がかかる場合があります。

4. 相手側 *Bluetooth* 機器でペアリング操作を行ない、本製品を検索します。
相手側 *Bluetooth* 機器の画面に、検出した機器の一覧が表示され、「ATH-BT09」と画面に表示されます。
5. 相手側 *Bluetooth* 機器の画面に表示されている「ATH-BT09」を選択します。
6. 相手側 *Bluetooth* 機器で、接続するプロファイルを選択します。
※相手側 *Bluetooth* 機器の画面でパスコードを要求されたら「0000」と入力します。
※相手側 *Bluetooth* 機器の画面で「登録完了」などが表示したら、ペアリング完了です。
※機器によっては、自動で対応したプロファイルを読み込む機器があります。
詳しくは接続する相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご確認ください。

7. 相手側 *Bluetooth* 機器を操作して、本製品と接続します。
LEDがゆっくりとした青色点滅に変わったら接続完了です。
※機器によっては、自動で *Bluetooth* 接続を行なう機器があります。
詳しくは接続する相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご確認ください。

- 5分以内にペアリング作業を完了しなかった場合、本製品のペアリングモードは解除されて、電源が切れます。
  この場合、もう一度最初からペアリングを行なってください。
- リセットボタン(→12ページ)を押してもペアリング情報は削除されません。
- 本製品の電源を再度入れ直すと、前回接続した機器に自動的に接続します。
  異なる機器に接続する場合は、前回接続した機器の接続待機状態の設定を解除、または *Bluetooth* 機能をOFFにしてつながらないようにしてください。
  詳しくは接続する相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご確認ください。

■ 一度ペアリングを行なっても、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

・9台以上の *Bluetooth* 機器をペアリングしたとき
(本製品は最大8台までペアリング登録できます。8台ペアリング登録したあとに、新たな機器のペアリング登録を行なうと、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)

・本製品のペアリング情報が消えてしまったとき

・相手側 *Bluetooth* 機器で本製品の接続履歴情報が削除されたとき

■ *Bluetooth* 対応携帯電話の情報について

Bluetooth 対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページでご案内しています。
【PCサイト】http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/
＊TOPページ>一般製品>製品適合リスト
【モバイルサイト】www.audio-technica.co.jp/i/

音楽を聞く

本製品は、*Bluetooth* 無線技術におけるコンテンツ保護方式の1つ、SCMS-T方式に対応しています。
SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグなどの音楽(または音声)を聞くことができます。
操作を行なう前に、以下の内容をご確認ください。

- **相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。**
- **相手側 *Bluetooth* 機器が音楽送信機能に対応している。(プロファイル:A2DP)**
- **本製品と相手側 *Bluetooth* 機器のペアリングがA2DPで完了している。**

本製品の電源が切れている状態で電源/ホールドスイッチを左に1秒以上スライドさせてください。
「ピポパ」と起動音が鳴り、電源が入ります。
※本製品は電源を入れると、前回接続した *Bluetooth* 機器に自動的に接続します。
A2DP に接続しない場合は、電源が入った状態でマルチファンクションボタンを短押ししてください。
※自動的に接続しない場合や、前回接続した *Bluetooth* 機器と異なる機器に接続する場合は、相手側 *Bluetooth* 機器を操作して接続してください。
詳しくは接続する相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご確認ください。

相手側 *Bluetooth* 機器を操作するには

本製品のマルチファンクションボタンで、相手側 *Bluetooth* 機器の操作ができます。
※相手側 *Bluetooth* 機器によっては、操作に対応していない場合があります。

再生/一時停止する	短押し	1 回押してください。
曲送りをする	短 - 短押し	連続で 2 回押してください。
曲戻しをする	短 - 短 - 短押し	連続で 3 回押してください。
早送りをする	短 - 長押し	連続で 2 回押し、2 回目は押し続けてください。※
早戻しをする	短 - 短 - 長押し	連続で 3 回押し、3 回目は押し続けてください。※

※押し続けている間のみ早送り/早戻しの動作をします。

音量調整するには

音量ボタンの + - で音量を調整します。
+ で音量が大きくなり、- で小さくなります。
音量ボタンは長押しでも調整できます。
※音量が最大/最小になると「ピピッ」とビープ音が鳴ります。それ以上は大きく/小さくなりません。
また、音量を最小にしても消音にはなりません。

■ ご使用後

1. 相手側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
2. 本製品の電源/ホールドスイッチを左に1秒以上スライドさせてください。
「ピーポー」と終了音が鳴り、電源が切れます。

通話する

**本製品は *Bluetooth* 機能搭載の携帯電話と接続することでハンズフリーで通話することができます。
操作を行なう前に以下の内容をご確認ください。**

- **相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。**
- **本製品と相手側 *Bluetooth* 機器のペアリングがHFPかHSPで完了している。**

本製品の電源が切れている状態で電源／ホールドスイッチを左に1秒以上スライドさせてください。
「ピポパ」と起動音が鳴り、電源が入ります。
※本製品は電源を入れると、前回接続した *Bluetooth* 機器に自動的に接続します。
※自動的に接続しない場合や、前回接続した *Bluetooth* 機器と異なる機器に接続する場合は、
相手側 *Bluetooth* 機器を操作して接続してください。
詳しくは接続する相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご確認ください。
※相手側 *Bluetooth* 機器がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPで接続してください。

■ 電話を受ける
着信があると、ヘッドホンから着信音が聞こえます。
マルチファンクションボタンを短押しして、電話を受けます。

- 着信中にマルチファンクションボタンを約1秒押すと、着信拒否します。(HFP接続時のみ)
- 受話音量を調整するには、音量ボタンの+または−を押して音量を調整します。

■ 電話をかける
お手持ちの携帯電話を操作して、電話をかけてください。
携帯電話を操作して、本製品での通話に切り換えてください。

■ 通話を切り換える
通話中にマルチファンクションボタンを約1秒押すと、通話機器を本製品から携帯電話、
または携帯電話から本製品へ切り換えることができます。(HFP接続時のみ)

■ 電話を切る
本製品のマルチファンクションボタンを短押しして、通話を切断します。

■ ご使用後
1. 相手側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
2. 本製品の電源／ホールドスイッチを左に1秒以上スライドさせてください。
「ピーポー」と終了音が鳴り、電源が切れます。

通話する(つづき)

マルチファンクションボタンの機能について
本製品はマルチファンクションボタンの操作で相手側 *Bluetooth* 機器を操作できます。
携帯電話との接続には、HFPまたはHSPのどちらかが使用されます。
接続したプロファイルによって対応する機能も異なります。

HFP接続時

状況／ボタン操作	着信中	発信中	通話中	待機中
短押し	通話開始	発信中断	終話	(A2DPリンク接続)※1
長押し ※2	着信拒否	発信中断	携帯電話⇔本製品切換	—

HSP接続時

状況／ボタン操作	着信中	発信中	通話中	待機中
短押し	通話開始	—	終話	(A2DPリンク接続)※1
長押し ※2	—	—	終話	—

※1　A2DP リンクが未接続の場合。
※2　マルチファンクションボタンを約 1 秒押します。

音楽再生中に通話する

操作を行なう前に以下の内容をご確認ください。

- **相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。**
- **相手側 *Bluetooth* 機器が音楽送信機能に対応している。(プロファイル:A2DP)**
- **本製品と相手側 *Bluetooth* 機器のペアリングがA2DPとHFPまたはHSPで完了している。**

音楽再生中に通話をするには、A2DP だけではなく、HFPまたは HSP での *Bluetooth* 接続も必要です。
「音楽を聞く」(→8 ページ) の手順に従って、相手側 *Bluetooth* 機器と接続し、音楽を再生します。
※相手側 *Bluetooth* 機器の操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 音楽再生中に電話を受ける
着信があると音楽が一時停止し、本製品のヘッドホンから着信音が聞こえます。
1. 本製品のマルチファンクションボタンを短押しして、通話を開始します。
2. 通話が終了したらマルチファンクションボタンを短押しし、電話を切ります。
音楽再生に戻ります。
※相手側 *Bluetooth* 機器によっては、音楽再生に戻らない機種があります。

■ 音楽再生中に電話をかける
1. お手持ちの携帯電話を操作して、電話をかけてください。
相手側 *Bluetooth* 機器を操作して、本製品での通話に切り換えてください。
2. 通話が終了したらマルチファンクションボタンを短押しし、電話を切ります。
音楽再生に戻ります。
※相手側 *Bluetooth* 機器によっては、音楽再生に戻らない機種があります。

■ 通話を切り換える
通話中にマルチファンクションボタンを約1秒押すと、通話機器を本製品から携帯電話、
または携帯電話から本製品へ切り換えることができます。(HFP接続時のみ)

LED表示について

本製品の LED 点滅・点灯表示により動作状態の確認をすることができます。

● 赤色
● 青色

動作状態	LED 表示パターン	
接続操作待ち	● ― ― ― ― ― ― ― ― ― ● ― ― ― ― ― ― ― ― ― ● ― ―	繰り返し点滅 ゆっくり
ペアリング中	● ●	繰り返し点滅
接続中	● ― ― ― ― ― ― ― ― ― ● ― ― ― ― ― ― ― ― ― ● ― ―	繰り返し点滅 ゆっくり
電池残量 - 小	▬ ― ― ▬ ― ― ▬ ― ― ▬ ― ― ▬	繰り返し点滅
充電中	▬▬▬▬▬▬▬▬▬▬	点灯
充電中の異常発生時	● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ● ― ●	繰り返し点滅

お手入れのしかた

**長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。
お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。**

■ 本体について
乾いた布で汚れを拭いてください。

■ ヘッドホンについて
乾いた布で汚れを拭いてください。
特にイヤピース装着部 (右図参照)は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。
なお、音が出る部分は繊細なため、触らないようにしてください。
故障の原因になります。

■ コードについて
汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、濡れた布で拭いてください。
汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。

※ イヤピースのお手入れは、「イヤピースについて」→「お手入れのしかた」 をご参照ください。

イヤピースについて

■ イヤピースのサイズ／種類について
本製品は、4サイズのシリコンイヤピースXS、S、M、Lを付属しており、お買い上げ時はMサイズが装着されています。
よりよい音質で楽しんでいただくために、イヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の収まりのよい位置に調節してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。

■ お手入れのしかた
ヘッドホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は乾いてからご使用ください。

■ 交換のしかた
イヤピースを外し、新しいイヤピースを斜めから押し当てます。(右図参照)
内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。
※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。

⚠注意

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。
汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。嵌合がゆるくなるなどの劣化が見られた場合は、交換イヤピースを販売店でお買い求めください。
- 一度外したイヤピースを本体に付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。
イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

リセット機能について

万一、本製品の操作ができなくなってしまった場合には、これを解除するためのリセットボタンを設けています。下記手順に従って、本製品をリセットしてください。

右図のように細い棒などをリセット穴に差し込み、リセットボタンの感触があるまで押してください。リセットボタンが押されると電源が切れます。

※この操作をしてもペアリング情報は削除されません。

充電のしかた（別売のUSB対応ACアダプターを使用する）

パソコンで充電する（→5ページ）以外にも、USB対応ACアダプターAD−SU505JEA（別売）を使用して充電することができます。

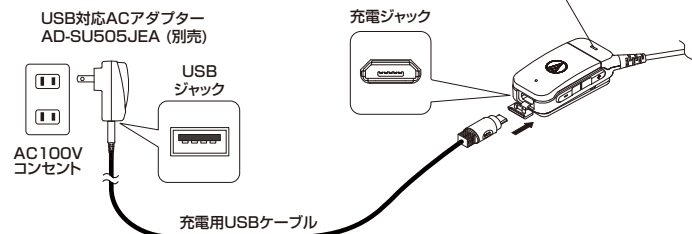
※充電中は *Bluetooth* の接続が切れますので、本製品を使用することはできません。

1. 本製品のキャップを外し、充電ジャックに付属の充電用 USB ケーブルを接続します。

2. 充電用 USB ケーブルを USB 対応 AC アダプターの USB ジャックに接続します。

3. AC100V コンセントに USB 対応 AC アダプターを接続してください。
   充電が開始されると本製品の LED が 2 回青色に点滅した後、赤色が点灯します。
   充電開始から約 3 時間※で LED が消灯し充電完了となります。

※ 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
前回充電した分の電池容量が残っている場合には、短い時間で充電完了となります。

接続図

電池残量が少なくなった場合

「ピピ.ピピ」とビープ音が3回鳴り、約0.5秒間隔でLEDが点滅します。
本製品の電池が完全になくなると「ピーポー」と終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
LEDが点滅しはじめたら、上記の方法で充電してください。

充電時間

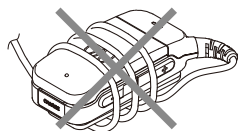
約3時間
※使用条件により異なります。

充電のしかた（別売のUSB対応ACアダプターを使用する）つづき

- 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくてもLEDが消灯したり、LEDが赤色の点滅をしたりします。
  ・動作保証温度範囲（5℃〜40℃）から外れる場合
  ・充電式電池に問題がある場合
  この場合、リセットボタン（→12ページ）を押してからもう一度上記の温度範囲で充電を行なってください。
  それでもLEDが赤色の点滅をしたり、充電されない場合は、当社のサービスセンターまでご相談ください。
- 初めて充電を行なったとき、または長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、通常通り充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げのお店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。

収納に関する注意

ヘッドホンのコードを本体に強く巻き付けて収納すると、コードに過度な屈曲が発生し、故障、断線の原因となります。

【悪い例】

故障かな?と思ったら

Q1. 電源が入らない

A1. 電池残量はありますか? → 充電してください。

Q2. ペアリングができない／完了しない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が離れていませんか?
→ 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器を1m以内に近付けて再度ペアリングをしてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか? → 適合を確認してください。
A3. プロファイルの設定は完了していますか?
→ 相手側 *Bluetooth* 対応機器の取扱説明書を確認し、プロファイルの設定を完了させてください。

Q3. *Bluetooth* 接続ができない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか? → 電源を入れてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 機能は有効になっていますか? → *Bluetooth* 機能を有効にしてください。

Q4. 音が出ない（音楽再生時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入ってますか? → 電源を入れてください。
A2. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器がA2DPで接続されていますか? → A2DP接続してください。
A3. 相手側 *Bluetooth* 機器が再生されていますか? → 再生してください。
A4. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の音量は小さくありませんか? → 音量を調整してください。

Q5. 音が歪む、途切れる（音楽再生時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに2.4GHz帯の周波数を使用している電子レンジや無線などの機器はありませんか? → それらの機器と離して使用してください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器で複数のアプリケーションが起動してませんか?
→ 一部の携帯電話などでは複数のアプリケーションが起動していると、音楽や音声が途切れる場合があります。
A3. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか? → 適合を確認してください。

Q6. 音質が悪い（音楽再生時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器が、HFP／HSPの *Bluetooth* 接続になっていませんか?
→ A2DPで接続してください。

Q7. 通話相手の声が聞こえない（通話時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入ってますか? → 電源を入れてください。
A2. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器がHFPまたはHSPで接続されていますか?
→ HFPまたはHSPで接続してください。

Q8. 通信距離が短い

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに2.4GHz帯の周波数を使用している電子レンジや無線などの機器はありませんか? → それらの機器と離して使用してください
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器を本製品に近付けて使用してください。

Q9. 充電できない

A1. 本製品とパソコンに充電用USBケーブルがしっかり接続されていますか?
→ しっかり奥までまっすぐ差し込んでください。
A2. パソコンの電源が入っていますか? → パソコンの電源を入れてください。
A3. パソコンがスリープ状態に入っていませんか? → パソコンの電源設定を確認してください。
A4. 別売のUSB対応ACアダプターをご使用の場合は、正しく接続されていますか?
→ 接続を確認してください。
A5. 充電が完了していませんか?
→ 満充電の可能性があります。電源を入れて確認してください。

テクニカルデータ

- **通信仕様**
  - 通信方式：*Bluetooth* 標準規格　Ver.2.1+EDR準拠
  - 出力：*Bluetooth* 標準規格　Power Class2
  - 最大通信距離：見通しのよい状態で10m以内
  - 使用周波数帯域：2.4GHz帯（2.402GHz〜2.480GHz）
  - 変調方式：FHSS
  - 対応 *Bluetooth* プロファイル：A2DP、AVRCP、HFP、HSP
  - 対応コーデック：SBC
  - 対応コンテンツ保護：SCMS-T方式
  - 伝送帯域：20〜20,000Hz（44.1kHzサンプリング時）
- **ヘッドホン部**
  - 型式：ダイナミック型
  - ドライバー：φ8.5mm
  - 再生周波数帯域：20〜23,000Hz
  - コード長：0.5m（Y型※）※左右のコードの長さが同じです。
- **マイク部**
  - 型式：エレクトレットコンデンサー型
  - 指向性：全指向性
  - 感度：-44dB（1V/Pa、at1kHz）
  - 周波数帯域：50〜4,000Hz
- **電源**：DC3.7Vリチウムポリマー充電池（内蔵式）
- **連続通信時間**：最大約7時間（音楽再生時間含む）※使用条件により異なります。
- **連続待ち受け時間**：最大約200時間 ※使用条件により異なります。
- **充電時間**：約3時間※使用条件によって異なります。
- **質量**：約22g
- **外形寸法**：W24×H50×D20mm（突起部除く）
- **使用温度範囲**：5℃〜40℃
- **付属品**：充電用USBケーブル（1.0m）、イヤピース（XS,S,M,L）
- **別売**：交換イヤピース：ER-CKM55XS,S,M,L
  USB対応ACアダプター：AD-SU505JEA

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

132310860

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00〜17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●**お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた）**　0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●**サービスセンター（修理・部品）**　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●**ホームページ（サポート）**
www.audio-technica.co.jp/atj/support/